

尼崎市交通局の沿革（概略）

1948 年	市域の南北をつなぐ交通バス路線が必要となり、尼崎市営バスの運行が開始
1967 年	一日平均乗客数 12 万 8 千人と開業以来最高を記録
1969 年	高齢者の社会参加や生きがいの促進等を目的として、65 歳以上無料の「高齢者バス運賃助成制度」が発足
	乗客数は減少の一途をたどる
2001 年	老人市バス無料乗車証の年齢要件の段階的引き上げ（65 歳→70 歳）
2010 年	老人の市バス利用者負担の導入
	高齢者のバス離れに拍車をかける
2016 年	阪神バスへと路線バス事業を移譲 乗車払い方式が IC カード化、定期方式が阪神バスの商品「グランドパス」を活用することになる

高齢者バス定期券運賃助成の変遷（１年定期・一般の場合）

